

# 目次

プロローグ

## 政治学の特徴

### 第1章 政治学の基礎

- 国家
- 政治体制
- 政治権力・リーダーシップ  
エリート論

### 第2章 政治制度

- 各国の政治制度
- 日本の政治制度
- 議会
- 選挙制度
- 日本の選挙制度
- 世界の選挙制度

### 第3章 政治過程

- 政党
- 利益団体（圧力団体）
- マス・メディア
- 政治意識
- 民主主義（デモクラシー）
- イデオロギー

### 第4章 政治思想

- 西洋の政治思想家
- 日本の政治思想家

### 第5章 日本の政党史

- 戦後の日本の政党史

政治学は、公務員試験の「専門科目」として出題される科目の1つです。出題される公務員試験は、下表のようになっています。

★出題される公務員試験		
試験名	択一問題出題数	難易度
国家一般職大卒	5問	★★★
国税専門官A・財務専門官	3問	★★
東京都特別区I類	5問	★
地方上級	2問	★

※東京都I類Bは記述のみで択一問題の出題は無し

政治学は、法律系や経済系の科目と比較すると**出題数は少なめ**になっています。したがって、学習の際はたっぷりと時間をかけてしまわないように**程々の学習**を心掛けましょう。

次に出題の内容ですが、主に「**言葉の意味**」や「**人物と主張内容**」が試験で出題されます。過去の出題パターンを分析すると、以下のような特徴があります。

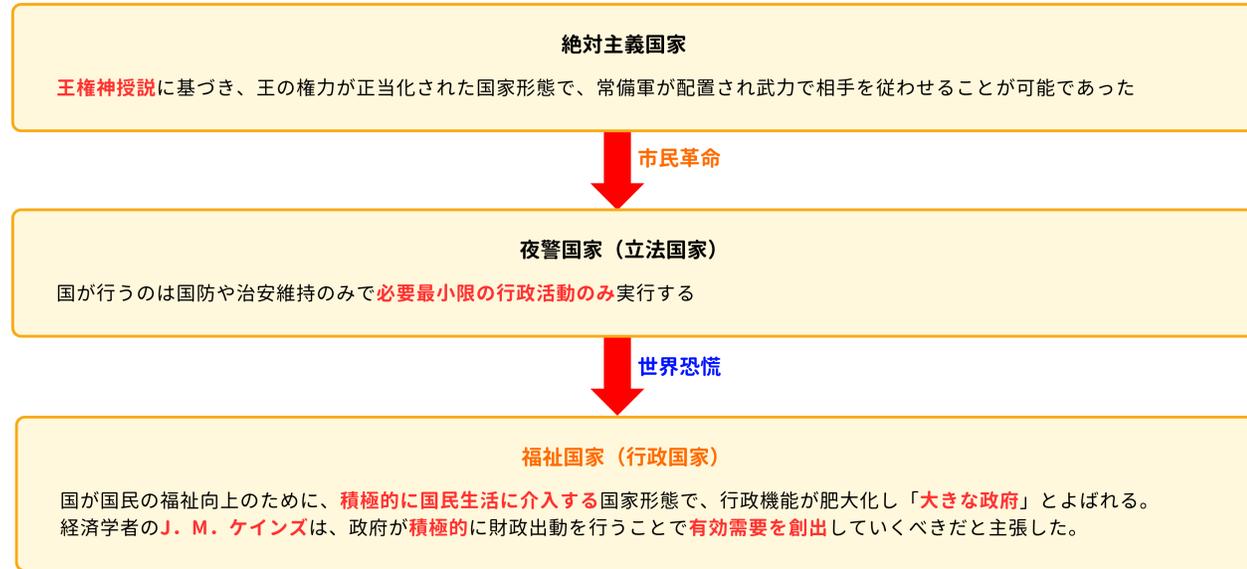
- 問題文で「Aの説明」といっているが「Bの説明」になっている
- **同じ問題内**で人物やキーワードが**逆**になっている
- それぞれの学者の立場を問われる（提唱しているのに批判したなど）

上記のような特徴をふまえ、学習をする際は①言葉の意味や人物のチェック、②①で学習した範囲の問題を解く、③②の復習という流れを意識しましょう。問題を解く際は、国家一般職の過去問は最後にして他の試験の過去問を解いていきましょう。試験前は、「反復して問題を解く」ことが何より重要です。

# 1 国家

## 1 国家形態の変遷

時代とともに国家の役割や形態は変化していき、現在では「**福祉国家**」とよばれる国家形態を展開している国が多く存在します。



## 2 福祉国家

福祉国家は、社会保障政策や完全雇用政策などを通じて国民の福祉を積極的に推進する国家のことです。各国では、下記のような政策が行われてきました。

	内容
19世紀	<ul style="list-style-type: none"> <li>工場法により労働者の長時間労働を規制（イギリス）</li> <li>ビスマルクが<b>社会保険</b>制度を導入（プロイセン）</li> </ul>
20世紀	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベヴァリッジ報告（1942年）に基づき最低限度の生活（ナショナル・ミニマム）を保障（イギリス）</li> <li>サッチャー政権（1980年代）が国営企業を<b>民営化</b>するなど福祉政策を見直す（イギリス）</li> <li>「第3の道」をスローガンにした<b>ブレア</b>政権（1990年代）が教育に関する政策を重視（イギリス）</li> </ul>

重要人物 H. ウィーレンスキー

- その国の**経済水準**が**社会福祉水準**を決定する根本的原因である
- 経済水準が低い国では政府に対する福祉ニーズが生じ、政府はそれに応じて福祉プログラムを拡大していくので**福祉国家化**していく（収斂理論）

## 1 福祉国家の類型

**G. エスピン=アンデルセン**は現代の福祉国家の多様性に注目し、3つの指標にもとづき、福祉国家を**3つ**に類型化しました。

	社会民主主義型	自由主義型	保守主義型
① 脱商品化	高い	低い	やや高い
② 階層化	低い	高い	高い
③ 脱家族化	高い	中	低い
④ 代表例	スウェーデン	アメリカ	ドイツ

国によっては、これら3つの類型に当てはまらない場合もあります。イギリスは、社会民主主義型+自由主義型とされており、**日本**は、**自由主義型（脱商品化が低い）**+**保守主義型（階層化が高い）**であるとされています。

## 2 日本の福祉政策

日本では、戦後から福祉政策の拡充が図られてきました。1973年は**福祉元年**とよばれ、社会保障制度が重要な政策課題として考えられるようになった象徴的な年です。

1950年代	生活保護法の制定
1960年代	<b>国民皆保険、国民皆年金の実現</b>
1973年	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の<b>医療費自己負担の無料化</b></li> <li>厚生年金や国民年金の給付額の増加</li> </ul>

社会保障を支える仕組みは、財源に注目すると大きく「**公的扶助**」と「**社会保険**」に分けることができます。公的扶助は、困窮者の**資力を調査**した上で支援が必要かどうか判断されます。社会保険は、病気や怪我などの支給事由が生じた場合に**資力**などに関係なく支援を行う保障制度です。

## 3 福祉国家を批判した学者

F. ハイエク	著書の『隷従への道』で、 <b>社会主義</b> の計画経済や <b>ケインズ経済学</b> を「 <b>計画主義的思考</b> 」として <b>批判</b>
R. ノージック	著書の『アナーキー・国家・ユートピア』で、福祉国家が政策として行う「 <b>所得の再分配</b> 」は <b>個人の権利を侵害する</b> ものであり、正当化される国家の存在は <b>最小国家</b> だと主張

### 3 国家論

「国家」という存在は、私たちにとってはどんな存在でしょうか？政治学の中では主に2つの考え方があります。

① 一元的国家論	国家の <b>絶対的な優位性を認める</b> 考え方
② 多元的国家論	国家はあくまで社会全体の一部であり <b>国家の絶対的な優位性を認めないとする</b> 考え方で、 <b>第一次世界大戦後</b> から主張されるようになった

それぞれの国家論に関して、代表的な学者がいますので、その学者がどちらの立場なのか、主な主張内容を覚えておきましょう。

#### ① 一元的国家論の学者

重要人物 G. W. F. ヘーゲル

自由でありながらも調和のとれた状態を**人倫**として、国家は「**人倫の最高形態**」である

#### ② 多元的国家論の学者

重要人物 H. ラスキ

**国家**は、他の社会集団と同様に一定の機能を遂行する**集団**にすぎない

#### ③ 階級国家論の学者

重要人物 K. マルクス

国家は、資本家階級が労働者階級を抑圧するための搾取機関である

# 公務員のライトの「政治学」講座

公務員のライト

2週間で完成!

# 政治学

## 速習

カリスマ講師  
だーはら先生

まずは「無料」の  
体験講義を見る



無料 LINEで受講相談実施中!

どんな質問でもOK

- オススメの講座
- 講座の内容
- 決済方法
- スケジュール...等



お気軽にお問い合わせください。

講座の詳細はこちら▶

